

表9 安政元年(1854)長谷川吉郎治家の紅花取引の実態

産地・集出荷形態	荷数	買代金計	諸掛	原価	売代金計	純益	利益率
	袋	両	両	両	両	両	%
《安政元寅年春為登》							
最上紅花							
⑱内造り 天童 高木屋造り 楯岡 青沼惣次殿造	1092	538.29	28.08	566.33	547.38	- 18.65	- 3.35
奥州紅花							
⑲仙台 得可寿屋徳蔵 奥仙紅花	330	155.25	8.00	163.25	150.24	- 13.01	- 7.97
⑳奥仙紅花 ㊦五分 ㊧五分	775	361.24	12.75	374.00	- -	- -	- -
㉑村田 大沼正七殿 南仙紅花	437	231.31	27.31	258.69	282.95	24.26	9.38
㊦五分 ㊧五分	1542	747.80	48.06	795.94	- -	- -	- -
小計(⑱~㉑)	2634	1286.09	76.14	1362.27	- -	- -	- -
《安政元寅年夏 出荷》							
最上紅花	(%)						
①内造り紅花	3779 (21.08)	2643.82	115.09	2758.91	3228.59	469.68	17.02
②内造り ㊦五分 米庄殿五分 組合	196 (1.10)	109.81	5.32	115.12	139.99	24.87	21.60
③内造り 天童 高木屋七兵衛殿造							
㊦五分 村田大沼庄治郎殿五分 組合	718 (4.01)	457.76	18.98	476.74	575.56	98.82	20.73
④天童 高木屋七兵衛殿造 ㊦分	407 (2.27)	281.02	12.21	293.22	324.07	30.85	10.52
⑤楯岡 青沼惣次殿造	433 (2.42)	313.50	12.77	326.28	394.90	68.62	21.03
⑥内造り 高木屋七兵衛殿造							
㊦五分 斎藤長松五分 組合	1093 (6.10)	695.89	27.25	723.13	883.17	160.04	22.13
⑦江俣村 鈴木屋長四郎殿造							
㊦五分 長長四郎殿五分 組合	171 (0.95)	- -	- -	113.40	135.99	22.59	19.92
	6797 (37.92)	- -	- -	4806.80	5682.27	875.47	18.21
庄内紅花							
⑧酒田 鏡屋惣右衛門殿造り 庄内紅花	230 (1.28)	- -	- -	125.36	149.27	23.91	19.07
総州紅花など							
⑩古河宿 八百屋儀左衛門殿	604 (3.37)	631.76	6.22	637.98	649.92	11.94	1.87
武州紅花							
⑨武州桶川宿 木嶋屋浅五郎殿	283 (1.58)	294.93	5.35	300.28	297.36	- 2.92	- 0.97
⑩江戸 出羽屋喜兵衛殿買口分	216 (1.21)	219.94	3.22	223.16	217.89	- 5.27	- 2.36
	499 (2.78)	514.87	8.57	523.44	515.25	- 8.19	- 1.56
奥州紅花							
⑫山形 市村屋五郎兵衛殿 奥仙南部紅花分	380 (2.12)	268.09	8.25	276.34	344.16	67.82	24.54
⑮村田 大沼正七殿造 南仙紅花分	2905 (16.21)	2482.37	203.59	2685.95	3213.52	527.57	19.64
⑯村田 山田屋新五郎殿							
㊦二分五厘 ㊧二分五厘 山新殿五分 組合 南仙紅花	1512 (8.44)	1275.75	92.75	1368.38	1607.79	239.42	17.50
	4797 (26.76)	4026.21	304.59	4330.67	5165.47	834.81	19.28
小計( ~ . . )	12927 (72.12)	- -	- -	10424.25	12162.18	1737.94	16.67
《安政元寅年9~12月 出荷》							
奥州紅花							
⑰大沼正七殿							
㊦五分 ㊧五分 組合 南仙紅花 江戸廻し	530 (2.96)	388.78	33.96	422.73	511.01	88.28	20.89
⑬山形 市村屋五郎兵衛殿 ㊦引請							
南部奥仙紅花分 江戸廻し為登	801 (4.47)	479.73	84.53	564.18	679.17	114.99	20.38
⑭山形 市村屋五郎兵衛殿 ㊦引請	322 (1.80)	184.40	- -	- -	269.24	- -	- -
小計(⑬・⑭・⑰)	1653 (9.22)	1052.91	- -	- -	1459.42	- -	- -
小計(⑬・⑰)	1331	868.51	118.49	986.91	1190.18	203.27	20.60
《安政2卯年春為登》							
最上紅花							
㉒内造り分	678 (3.78)	384.02	20.64	404.65	- -	- -	- -
㉓天童 高木屋七兵衛殿造り 寅冬中買入置分	401 (2.24)	264.14	10.87	274.87	- -	- -	- -
㉔天童 高木屋七兵衛殿造	286 (1.60)	181.76	7.69	189.44	- -	- -	- -
㉕天童 高木屋造	318 (1.77)	214.39	9.94	224.34	- -	- -	- -
㉖寒河江 八幡屋二而造り	164 (0.91)	- -	- -	106.65	- -	- -	- -
㉗楯岡 青沼惣次殿 買口分	34 (0.19)	21.17	1.11	22.27	- -	- -	- -
	1881 (10.49)	- -	- -	1222.22	- -	- -	- -
奥州紅花							
㉘奥仙紅花 大沼孫次郎殿出張二而買調							
㊦三分三厘 ㊧三分三厘 ㊨三分三厘 ㊩組合分							
(奥仙米屋喜十郎殿造り・仙台得可寿屋徳蔵殿造り)	1463 (8.16)	- -	- -	1037.69	- -	- -	- -
小計(㉒~㉘)	3344 (18.66)	- -	- -	2259.91	- -	- -	- -
合計(①~⑰・㉒~㉘)	17924 (100.00)						
	(280駄4袋)						
合計(①~㉘)	20558						
	(321駄14袋)						

典拠) 安政2年2月「寅夏卯春迄為登紅花青苧絹糸元揚り調」(宮城県柴田郡村田町大沼正治郎家文書)

補注) 表8に表示した各紅花荷のデータをもとに作成した。なお、集出荷形態毎に付けた番号①~㉘は表8のそれに対応する。本表では集出荷形態を帳面記載順ではなく、出荷時期別および産地別に整理した。商人名などの表記法は帳面のままとした。なお、「得可寿屋徳蔵」とは恵比寿屋徳蔵のことである。